



今月号の内容

- 校長巻頭言
- 学校経営方針について
- 離任式が行われました
- 5月の主な行事予定
- すまいるルームについて

第39回体育大会の準備が始まっています

校長 橘 太 造

新緑の美しい季節となりました。新年度が始まって1カ月がたちました。生徒たちも徐々に新しい学校や学年にも慣れてきました。一方で5月は4月からの環境の変化や緊張から、心身ともに疲れが出てくる時期でもありますので、ご家庭でもお子さんの様子に注意していただければと思います。学校でも個々の生徒の様子を注視してまいります。

さて、本校の二大行事のひとつである体育大会が近づいてきました。今年度は、5月27日（土）の実施を予定しています。昨年度までのコロナ禍による制限がなくなり、今年度は、学年種目（1年台風の目、2年大縄、3年大ムカデ）を復活させての実施となります。4月13日には第1回実行員会が開催され、第2回の実行委員会では、今年の体育大会のスローガンが決まりました。今年のスローガンは「風を切りさき駆け抜けろ！～進め新たな時代へ～」です。この言葉からは、未来に向かって突き進んでいくという、しなやかで強い意志をもった若者の姿が感じられます。17日には、実行委員による「体育大会全校説明会」も実施されました。

本校の体育大会は、伝統的に生徒が主体的に取り組むことに重点を置いており、事前準備や当日の運営を実行委員の生徒達が担っていきます。生徒たちが、どのような体育大会を創りあげるのがとても楽しみです。一方で、体育大会は、身体を鍛えることだけがねらいではありません。学級、学年の団結を高めるというねらいもあります。一人一人の生徒はそれぞれ異なる個性をもっています。運動が得意な生徒も苦手な生徒もいます。多様な個性をもつ生徒たちが、同じ目標に向かって励ましあいながら努力・協力し、互いの理解を進め、かわり・つながりを深めて欲しいと思っています。全校練習や体育授業での練習、朝や放課後の練習など、本格的な練習はわずか2週間ですが、生徒たちには、限られた時間のなかで、真剣に練習に取り組んで欲しいと思っています。稲城四中ならではの活気ある体育大会を保護者や地域の皆さまに見ただけできるよう取り組んでまいります。保護者の皆さまには、体育着の洗濯、水筒の準備等、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



新入生歓迎会・部活動紹介の様子



体育大会全校説明会の様子

令和5年度 稲城市立稲城第四中学校 学校経営方針について

稲城市立稲城第四中学校 教育目標

これからの社会の変化に適応することができる生徒を育成するため、次の目標を設定する。

- 自ら学び、考え、表現する （確かな学力）
- 他を思いやり、力を合わせる （豊かな人間性）
- たくましい気力・体力を養う （健やかな身体）

1 「自ら学び、考え、表現する」(確かな学力の育成)

- ① 単元ごとに小テスト、振り返りテストなどを実施し、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させます。
- ② 話し合い活動、学び合い活動を意図的・計画的に授業に取り入れ、思考力・判断力・表現力等の向上を図ります。
- ③ 単元ごとに自分自身の学習を振り返り、学びの改善を図る学習活動を進め、学びに向かう力、人間性を高めます。
- ④ タブレット端末を有効的に活用し、生徒の学習意欲を高める指導の工夫をします。家庭においてもタブレット端末を用いて主体的に学習に取り組む態度を育みます。

2 「他を思いやり、力を合わせる」(豊かな人間性の育成)

- ① 教育活動全般において主体性や自主性を育む取り組みを充実します。
- ② 自分のことも相手のことも大切にする気持ち（コミュニケーション力）を育みます。
- ③ 豊かな感性、情操を高めます。
- ④ 「時間・清掃・身なり・挨拶」に重点をおいて、基本的生活習慣の確立を目指します。
- ⑤ いじめの早期発見、早期対応に努めます。不登校、不適應や非行等の問題行動の未然防止、適時・適切な対応を徹底します。
- ⑥ 自然や伝統文化との触れあいや生徒同士のつながりやかかわりを深める宿泊体験学習（1年）、校外学習（2年）、修学旅行（3年）を重視します。

3 「たくましい気力・体力を養う」(健やかな身体の育成)

- ① 自らすすんで体力を高めようとする態度や意欲の向上を図ります。
- ② 健康（感染症、熱中症、食物アレルギー、がん教育等）指導を充実させ、健康・安全な生活を送るための姿勢や態度を育みます。

4 特別支援教育の推進

- ① 授業のユニバーサルデザイン化に向けた研究と実践に取り組み、すべての生徒が「できた、わかった、もっとやりたい」など、達成感や充実感の得られる授業づくりを進めます。
- ② 特別に支援が必要な生徒を含み、個々の生徒の個性や特性に応じた指導の充実を図ります。

5 安心・安全な学校づくりの推進

- ① 自分の命や身体を自分で守る力を高めます。
- ② 学校環境（施設・設備等）の整備や日々の点検を徹底し、学校事故を防止します。
- ③ 避難所運営を含む災害への対応・準備を進めます。

6 家庭・地域への積極的な情報発信、連携・協働の推進

- ① ホームページ、学校公開、学校だよりなどによる積極的な情報発信に取り組みます。
- ② コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会や学校支援コンシェルジュ、PTA等と連携し、地域や外部の専門家の教育力を活用した学校運営・教育活動を推進します。

離任式が行われました

4月28日（金）の5・6校時に離任式が行われました。昨年度末でご退職・ご転任された7名の先生方のうち、4名の先生方が参加され、お別れの挨拶をいただきました。先生方へは、代表生徒が別れの言葉と花束・メッセージカードを贈りました。長い間お世話になりました。当日のご参加された先生方のお話を掲載します。あわせて、ご都合によりご欠席された先生のメッセージを掲載します。

大畑顕人先生（ご退職）

新しいクラスには慣れましたか。稲城四中は生徒の人数が少ない分、アットホームで色々な友達、先生と関わるところがとても良いと思います。学校生活での成功や失敗を通して、コミュニケーション能力を養ってください。今までありがとうございました。

渡邊英哲先生（町田市立つくし野中学校へ）

最後まで、離任式に来るかどうか迷っていました。3年生が卒業するまで一緒に過ごしたかったです。体育大会、合唱コン、修学旅行・・・みんなと一緒に過ごしたかったです。色々な状況でそれが叶わなくなってしまいました。今日は、本当に転出したくなかったという気持ちを伝えにきました。皆さんと一緒にもっといろいろなことをしたかったという後悔がたくさんあります。1年間、最上級生として頑張りたいです。気持ちはみんなのそばにいます。お身体に気をつけて、悔いのない1年間を過ごしてください。今までありがとうございました。



田中宏昌先生（瑞穂町立瑞穂中学校へ）

本日はありがとうございます。四中には7年間勤務したので、矢野口駅から、もうここには来ないのだと嘯み締めながら四中まで来ました。皆さんには、「行動」できる人になって欲しいです。漢字はなんだと思いますか。1年生は口動。頑張っているいろいろな人から言われた指示通りに動けるようになろう。2年生は考動。自分で考えて動けるようになろう。3年生は幸動。人の幸せのために動けるようになっ

加藤さと子先生（町田市立町田第一中学校へ）

この4月から町田市立町田第一中学校で頑張っています。皆さんと一緒に美術を学ぶことはできなくなりましたがこれからも美術をしっかり学んでほしいと思います。町田一中は、全校生徒が700人以上でとても大きな学校です。稲城四中は、生徒は少ないけれど、とてもアットホームな素晴らしい学校です。ぜひ、四中でしかできないことを見つけてほしいと思います。先生は、稲城四中で楽しい時間を過ごすことができました。素晴らしい人生をお互い歩んで行きましょう。

梅原郁雄先生（ご退職・メッセージをいただきました）

私の教員生活を締めくくる四中での最後の三年間は、「コロナとの闘い」というこれまで経験のない日々でした。しかし、何事にも自分のできることを精一杯やろうとする四中生は私の元気の源でした。「みんなが頑張るから私も頑張れる、私が頑張るからみんなも頑張ってくれる」これからも、お互いが成長しあえる四中生であり続けてほしいと願っています。四中生の皆さん、これからもまだまだ困難なこと、大変なことはあるでしょうが一人ひとりの目標に向かって一步一步着実に歩みを進めていってください。四中の教職員全員が、あなたの努力を見守り、応援し、苦難を乗り越えてゆくことを心から願っています。保護者の皆様、地域の皆様、教職員の皆様、本当にお世話になりました。心より感謝申し上げて離任の挨拶とさせていただきます。

松本かをり先生（品川区立浜川中学校へ・メッセージをいただきました）

4月から品川区の浜川中学校に異動しました。羽田空港が近くにあり、飛行機が超低空飛行をしています。四中で聞こえる飛行機の音の比ではないくらいの爆音です。さらに校舎を改築中なので、工事の音も凄まじいです。梨畑に囲まれた静かな環境で授業をしていた日々がなんだか懐かしいです。皆さんはとても恵まれた環境で学校生活を送っています。それを当たり前と思わず、これからも感謝の気持ちをもって過ごしてください。応援しています。

5月の主な行事予定

日	曜	主 な 行 事
2	火	スポーツテスト（ジャージ登校）
11	木	耳鼻科検診
12	金	全国学力学習状況調査【話すこと】（3年）
13	土	土曜日授業 セーフティ教室 部活動保護者会
15	月	教育実習始 種目練習①
16	火	種目練習②
17	水	全校練習
18	木	歯科検診 種目練習③
22	月	東京都学力調査（3年生） 種目練習④
23	火	心臓検診（1年）
24	水	体育大会予行
27	土	第39回体育大会

中島亜沙先生（世田谷区立弦巻中学校へ・メッセージをいただきました）

稲城四中は仲間思いで優しい生徒が多く、楽しくあたたかい思い出がたくさんあります。全体を通して印象的だったことは、「生徒主体」と、「先輩が後輩の手本となる」ことです。「生徒主体でやる」ということは、楽（らく）なことではありません。時には手間がかかったり上手いかなかったりすることもあります。その中で試行錯誤しながら成長していったこれまでの先輩たちの姿を思うと、学校生活の様々な場面で、自分たち主体で取り組もうとする姿勢はとても大切だなと改めて感じます。6年間の心あたたまる時間に感謝しています。稲城四中のみなさんが健康で充実した学校生活を送られることを心より願っています。

すまいるルームについて

稲城市内では、公立小・中学校全校に特別支援教室（稲城市では「すまいるルーム」という名称）を設置しています。特別支援教室では、学習やコミュニケーションなどに困り感を感じている生徒を対象に個別や小集団での指導を週2時間程度行っています。拠点校から教員が巡回して指導を行い、本校は稲城第三中学校（拠点校）から巡回指導教員が週2回来校して個別・集団の指導を行っています。巡回指導教員は、横田敦司先生、稲垣紗織先生、宮田直樹先生の3人です。すまいるルームでは、個別や少人数での学習により、「安心して学べる」、「会話が多く信頼関係が築きやすい」、「質問がしやすく、分からない理由もすぐに発見してもらえる」など、一人一人に合った学習ができ、学級での困り感を軽減することで、個々の生徒の成長を広げていきます。

➡ すまいるルーム入室申請について

入室の申請は、年に2回です。今年度10月からの入室については、6月中に保護者の方からのご相談を受けて、申請や入室判定の手続きを始めます。入室のご希望やご相談等のある方は、担任へご相談ください。

「すまいるルーム」は、困っていることを聞いてくれたり、一緒にいい方法を見つけてくれたりする先生や友だちがいるよ！

